

「第4回製剤機械技術研究会仲井賞」 受賞者の選考結果について

The 2004 Nakai Award of The Japan Society of Pharmaceutical Machinery and Engineering

仲井賞選考委員長 松田芳久

Yoshihisa MATSUDA

The Chair of The Selection Committee of The Nakai Award

会員の皆様には既にご承知のことと思いますが、本研究会では創立10周年を機に、平成13年から標記の賞を設定し、製剤機械技術の進歩と発展に貢献した個人又はグループの功績を顕揚しております。今回は昨年11月14日を締切日として会報で受賞候補を募集しましたところ、今回は3件のご推薦がありました。これらの候補者につきまして、選考委員会で提出された推薦書および関係資料を慎重か厳正に審査しました結果、下記のように受賞者として槇野 正氏を決定し、去る2月18日に会長に報告いたしました。この結果は4月12日に開催された平成16年度総会においても報告いたしましたが、授賞式は別に10月7日、8日に開催される第14回大会において行われ、併せて受賞講演をしていただくこととなっております。

なお、ご応募にあたっては昨年からの推薦書の形式をこれまでより簡略化し、お気軽に推薦していただけるよう、全面的に改めております。会員の皆様には、お近くのお知り合いで、本賞の受賞に相応しい業績をあげておられる方がおられましたら、本研究会の活動を一層活発にするために、ぜひ積極的にご推薦いただきますようお願いいたします。詳細につきましては、会報をご覧ください。事務局へお問い合わせ下さい。

記

- ・受賞者：槇野 正氏（武田薬品工業株式会社 ヘルスケアカンパニー）
- ・受賞テーマ：流動層造粒による打錠用顆粒の設計とスーパースケールアップ
- ・受賞理由：本研究では流動層造粒について、本技術を多品種製剤に応用した実績を踏まえて、これまでに多数の有用な学術的データが積み重ねられており、広範囲な実用性が認められるとともに、製剤生産工程における貢献度も高い。すなわち、顆粒の製造工程を攪拌造粒から生産性の高い流動層造粒への転換を促した点、また結合剤の分布と打錠性との関係を明らかにした点、さらには含量均一性と粒子径の関係をも明確にし、本製剤技術のスケールアップを可能にした点は高く評価され、日本の製剤技術を世界に誇れる水準まで高めたといえる。

以上のように、実用化のための諸技術の開発と応用面において評価すべき点が多く、一連の業績の厚みと大きさも評価に値する。

したがって、受賞の要件を十分に満たしており、総合的に判断して「仲井賞」授賞に値するものである。